みなみ

園だより　１１がつ

令和８年１１月２日
目黒区立南保育園園長

先日裏庭で０，１，２歳児クラスが遊んでいると、部屋の窓越しに５歳児クラスの子どもたちと担任が「かわいいね」と目を細めて小さい子たちのことを見ています。その様子に気が付いた０歳児クラスの子が部屋の前までやってきました。窓をはさんでお互いの手を合わせていたので、５歳児クラス担任が窓をあけました。５歳児クラスの子は自分たちの部屋にいるときには聞かれることのないような声色で０歳児の子に話しかけています。はじめは手を引っ込めていた０歳児の子は優しい５歳児クラスの子たちの雰囲気にすっかり慣れ、直接手をタッチしてお互いとても嬉しそうでした。どんな言葉をかけたらいいのか、どんなふうに接したらいいのか相手に応じて自分で考えて関われる自然な環境が保育園にはいたるところにあります。関りを温かい目で見守り、一人一人の成長を支えていきたいと思います。

行事日程

乳児お楽しみ会（0.1.2 歳児）
歯科検診　（全園児）
交通安全教室　（3.4.5 歳児）
身体計測、避難訓練（全園児）

子どものつぶやき（２歳児クラス）

園庭でお店屋さんごっこをしていた子どもたちがいたので保育士が「くださいな」と買いに行くと「はい。どうぞ。コップコーン（ポップコーン）です！」と渡してくれました。

芋ほり遠足

４歳児、５歳児クラスの子どもたちで、埼玉県川越市にある荒幡農園に行ってきました。バスの中では、芋掘りクイズに答えたり、楽しみなお弁当をインタビューして発表したり、お楽しみ音楽を聴いたりしながら楽しく過ごしました。

サツマイモ畑に到着し掘り始めると、途中までは頭を出してくれるサツマイモでしたが、深く埋まっていてなかなか抜けず、「重たくて抜けないよ」「全然出てこない」という声も聞かれました。しかし、力を振り絞って抜けると、「こんなに大きいお芋だった」「こっちは繋がってるよ」などと、とても嬉しそうな子どもたちでした。芋掘りの後は待ちに待ったお弁当タイムで、「おいしいね」「楽しみにしてたんだ」と友達とお弁当を見せ合いながら、楽しそうに食べていました。

自分で掘った芋を入れずっしりと重くなったリュックを背に、「重いよ」「疲れちゃった」という声も聞かれましたが、「早く食べたい」「焼き芋がいいかな」など、美味しく食べることを楽しみに保育園まで帰ってきました。







今月は、主に幼児クラスの様子を紹介します。



運動会ごっこ（異年齢のかかわり）２～５歳児クラス

「運動会をまたみんなでやるよ」と聞いた３歳児クラスの子どもたちは「え？」と驚きと不思議な表情をしていました。自分たちのクラスの出番になると所定の位置を思い出して準備します。後ろにお兄さんお姉さんをしたがえて踊るのは何だか嬉しいような少し恥ずかしいような、それでも終始笑顔でした。幼児クラス揃って「シャー！」のポーズが決まっていました。みんなが興味津々だった４歳児クラスの大きなパラバルーンに、ついに触れる日が来ました。「つぎは、山だよ」「手、あげて！」と４歳児クラスの子どもたちはまるで“先生”のように次の技を伝えていて、他クラスの子も嬉しそうにリズムに合わせていました。ふんわりと膨らんだバルーンの中に入ることができて特別感を味わいました。５歳児クラスの縄体操は難しい演目にも関わらず、他クラスの子もよくついていきます。何度も何度も「すごいな」と見ていたので自然と覚えていたのでしょう。大きな輪の中に仲間入りさせてもらい、一体感を感じました。遊びに来た２歳児クラスの子どもたちにも踊りを教えてもらい、最後に一緒に『にんげんっていいな』を踊りました。ドキドキしながらも大きな舞台に立ち、お父さんお母さんたちに見てもらった経験が一人ひとりの自信となりました。他クラスの子どもや活動にも興味が湧き、憧れを抱き、「やってみたい」「一緒にやろう」「教えてあげる」という様々な気持ちが芽生えていました。



幼児お楽しみ会　３歳児クラス～５歳児クラス

劇『金のガチョウ』　　歌と合奏『さんぽ』

お楽しみ会が終わると、子どもたちが劇の話を思い出し「なんでがちょうにくっついたんだろう」「なんで笑うと離れるんだろう」と友達と物語について語り合う姿がありました。「〇〇先生の王様面白かったね」と役の面白い動作を真似して見せあう姿もありました。



歌と合奏では、知っているメロディが流れると自然と手拍子が始まり、一緒に歌い始めたり楽しそうに体を揺らしたりしていました。大太鼓やシンバル、鉄琴など普段はあまり目にしない楽器に興味津々で、とんぼ組の子どもたちは会の後、早速楽器に触れて鳴らして楽しんでいました。その日の夕方、裏庭に出たでんでんむし組の子がで小さなベンチを抱えギターを弾きながら歌う真似をする姿もありました。



１２月に、『にこにこ参観日』があります。お楽しみ会で感じた表現することの面白さ楽しさを今度は自分たちが楽しめるよう、各クラス工夫をしながら劇ごっこをしたり、歌ったり楽器に触れていきたいと思います。